

第2回ボランティアセンター運営委員会の会議報告について

表記会議を開催しましたので、ご報告します。

- 1 日時 平成26年10月27日(月)10時～11時10分
- 2 場所 鶴見中央コミュニティハウス 会議室2
- 3 出席者 三谷委員長、星野副委員長、晝間委員、青木委員、渡辺委員、
須佐委員、山本委員、松下委員
事務局 伊藤事務局長、武田事務局次長、
担当職員(金澤・内藤・臼井)
- 4 内容

開催に先立ち
三谷会長あいさつ

【議 事】

1. ボランティアセンターの運営状況について

資料1に基づき事務局より説明がされた。それに対して下記の質疑があった。

区社協ボランティア関係事業報告書(平成26年4月1日～8月31日)															
(1)単発依頼(送迎活動を含む)				(2)継続依頼(送迎活動を含む)											
単発	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数	単発	依頼件数	紹介件数	調整中	調整つかず	取り下げ	紹介人数	調整数
児童	7	2	4	0	1	12	26	児童	6	1	5	0	0	7	21
障害	26	20	1	2	3	28	142	障害	15	1	13	0	1	7	28
高齢 <small>(おむつ・車椅子)</small>	2	1	1	0	0	30	19	高齢 <small>(おむつ・車椅子)</small>	20	1	19	0	0	12	30
外国人	0	0	0	0	0	0	0	外国人	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	6	3	3	0	0	8	45	限定せず	1	1	0	0	0	2	6
その他	2	1	1	0	0	1	5	その他	2	1	1	0	0	1	12
合計	43	27	10	2	4	79	237	合計	44	5	38	0	1	29	97
(3)ボランティア登録者								(4)新規登録者(平成26年度)							
①新規登録者数(平成26年度分)				②累計登録者数(～平成26年度末)				福祉				②累計登録者(～平成26年度末)			
区分	件数・人数	区分	件数・人数	区分	件数・人数	区分	件数・人数	区分	件数・人数	区分	件数・人数	区分	件数・人数		
グループ(団体数)	1	グループ(団体数)	62	話相手	15名	話相手	99名	一時保育・遊び相手	9名	一時保育・遊び相手	52名				
グループ(会員数)A	10	グループ(会員数)A	1650	外出付き添い	8名	外出付き添い	54名	送迎	4名	送迎	21名				
個人(男性)	14	個人(男性)	95	介助	2名	介助	26名	家事援助	2名	家事援助	32名				
個人(女性)	30	個人(女性)	154	生活援助	1名	生活援助	19名	施設での手伝い	10名	施設での手伝い	79名				
個人(男女合計)B	44	個人(男女合計)B	249	技術提供(福祉系)	3名	技術提供(福祉系)	36名	環境・まちづくり・災害	6名	環境・まちづくり・災害	49名				
合計 A+B	54	合計 A+B	1899	イベント手伝い	12名	イベント手伝い	106名	技術提供(その他)	12名	技術提供(その他)	110名				
【ボランティアコーディネートにおける課題】 ・精神の障害の方からの付き添い、話し相手の依頼が多い ・夏休み中で単位、資格のためのボラの申込みが多かったが、期間中のみで休みが終わると学校のためできない場合が多い ・夏ボラで障害施設への申込み希望がなかなかないので、工夫が必要。 ・中学生のボラはその後継続できる依頼がないので、夏ボラの後が続かない ・精神障害のパソコンレクチャーの依頼。ボラが見つかって、最初は拠点で行い、その後の場所の確保が難しい。(地区センターは不可)個人宅もトラブルがある。				その他 技術提供(その他) 12名 その他 5名 決めていない 12名				その他 イベント手伝い 106名 技術提供(その他) 110名 その他 24名 決めていない 67名							

資料1

ボランティア新規登録(年齢・月別比較一覧表)								
年度	内訳		4月	5月	6月	7月	8月	合計
平成26年度	個人	～22歳	1	3	3	4	2	13
		23～59歳	1	3	5	2	4	15
		60歳以上	3	0	2	4	6	15
	グループ		0	0	1	0	0	1
	合計		5	6	11	10	12	44
平成25年度	個人	～22歳	1	1	1	4	10	17
		23～59歳	3	2	3	7	7	22
		60歳以上	5	1	2	2	1	11
	グループ		0	0	0	0	1	1
	合計		9	4	6	13	19	51

ボランティアコーディネートについて

Q1,ボランティアコーディネートにおける課題について精神の障害の方からの付き添い、話し相手の依頼が多いとあるが、何件か？

A1,【事務局】具体的な数字は再度調べなければならない。

【委員】不明確な感覚だけの表記はさけた方がよい。表記するならば、具体的に何件か明記すべきである。HP に載せることを考えると、言葉だけが独り歩きするので、事実関係を抑えるべきである。

【事務局】パーセンテージで表記する方向で記載方法を工夫する。

Q2,ボランティア新規登録者で22歳以下の人は学生と考えた方が良いか？

A2,【事務局】単位、宿題のために登録している学生が殆どである。

Q3,60歳以上の新規登録者が7, 8月が増えている傾向は、イベントによるものか？

A3,【事務局】たとえば「總持寺 de 掃除」などのイベント参加者が新規登録につながっているケースが多い。

上半期事業報告について

【委員】

・ボランティア受入側としての発言になるが、継続的な調理のボランティアを依頼し、来てもらっている。初めてのボランティアの方に社協コーディネーターが現場まで付き添ってくれることは、ボランティアの不安も少なくなって良いと思う。これまでは、職員一人で調理していたので、とても頼りにしている。ボランティアセンターに依頼しておけば必ずボランティアがいるということがわかった。

Q1,夏ボラの参加者の34人はボランティア登録をしないのか？

A1,【事務局】中学生のボランティアの受け入れ先が見つかりにくいので、登録まで至っていない。

【委員】・中学生は地元のイベントに参加してもらっている。ボランティアセンターは通さず、連合会で直接、学校を通して依頼している場合が多い。

- ・中学生が日常的に続けるのは難しいが、お祭りなどのイベントなどで単発的にやっていると思う。
- ・中学生が自主的にやるのは難しい。受入側の心配りも必要である。
- ・サマーフレンドの初めのころはボランティアをたくさん募集して、「たまごっこ」というボランティアグループを作った。そのメンバーの半分は今では福祉の道に進んでいる。福祉理解の種まきという意味では大切。
- ・福祉業界は人材不足なので、中学生、高校生、大学生はできるだけ受け入れている。高齢福祉はきつい、汚いと悪いイメージだけが先行しているが、現実にはそればかりではない。まずはできるだけ多くの人に現場を知ってもらいたいと思っている。また、鶴見総合高校は各福祉施設へ5日間体験してもらっている。学校側へも夏ボラの時などにPR する必要がある。

Q2,福祉はイメージ負けしている部分もある。種まきは必要である。学校には働きかけはしているのか？

A2,【事務局】小中学校の校長会に働きかけをしている。

下半期事業予定について

Q1,ここに載っている以外にケアプラザとの連絡会はやっているか？

A1,【事務局】やっている。

Q2,外国からの依頼は来ているのか？来ていないのはなぜか？

A2,【事務局】依頼は来ていない。ボランティア分科会の中で外国籍の方を対象にしているボランティアグループの勉強会から外国籍の方の理解研修など活動者向けのアプローチを行っている。

【委員】今後、なぜ依頼が来ていないのかを踏まえて事業をやっていくと良い。

【委員】・全国的に学生がボランティアで子どもに勉強を教える団体がある。鶴見で勉強を教える団体の動向をみて、他の組織の方法を参考にしても良いのではないか。

【事務局】・情報提供として、学習ボランティアとして「うしおだ塾」という子ども達の勉強をみるボランティアがある。

2. 善意銀行の預託状況について

資料2に基づき事務局より説明がされた。それを受けて下記の質疑がされた。

資料2

社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 善意銀行 預託配分状況 (平成26年4月1日～平成26年8月31日)								
1 預託金額	4月～8月		合計		昨年度同時期実績		昨年度合計	
受付区分	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉	31	398,207	31	398,207	23	1,488,191	86	3,623,525
障害福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
児童福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
高齢者福祉	0	0	0	0	0	0	0	0
特別配分	0	0	0	0	0	0	0	0
寄付小計	31	398,207	31	398,207	23	1,488,191	86	3,623,525
2 26度8月末通帳残高								
25年度末通帳残高		14,420,760		14,420,760				
25年度未払金(送迎サービス)		713,009		713,009				
平成26年度預託金額		398,207		398,207				
利息		1,466		1,466				
預託合計		14,107,424		14,107,424				
3 平成26年度配分金額								
特別配分および区協事業への配分		鶴見ふれあい善意銀行		2,482,000				
配分合計				2,482,000				
26年度8月末善意銀行残高				11,625,424				
(平成26年8月31日現在)								

Q1,今年集まったのが39万ということで良いか？

A1,【事務局】その通りである。

Q2,ずっとこの切り崩しの状態が続いている。東日本大震災支援に重点がおかれていた時期もあるが、不況が原因か？

A2,【事務局】件数的にみると増えているので、寄付をしようという考えの人は昨年度より増えていると思われる。

【委員】寄付をどこにして良いかわからない人がたくさんいる。お祭りのときに地区社協の会長を通して箱を置いてもらってはどうか。

【事務局】地域の様々な機会にPRしていくのは必要だと思っている。香典返しをする分を寄付として預かるという例もある。地域への依頼はすでに共同募金や日赤社資等で他の依頼をしているのでこれ以上の依頼は負担になるかもしれない。状況をみて考えていきたい。

【委員】・寄付は別問題なので、町会も苦しいが善意のある人もたくさんいるので、それを預かっておさめることはできると思う。

・区社協の共催しているイベント、三大祭りのイベントのブースでPRもかねて集めてはどうか。各屋台に募金箱をおいてもらってはどうか。料金設定を端数にして、おつりを募金してもらおうのはどうか。

・11月3日に「總持寺の夢ひろば」があるので、そこで集めてみたらどうか。

Q3,社協の窓口で預かっていないのか？

A3,【事務局】窓口で預かっている。いきいきポイントでも預かっている。

Q4,【委員】過去の寄付者名簿でどこがしてくれているか？企業なのか？個人なのか？調べてみる手もある。

A4,【事務局】だいたい半分くらいである。

【委員】過去は企業も多くの数が寄付を行ってきていた。過去の寄付状況から調査し、善銀の募集方法について改めてディスカッションする必要がある。

Q5,善銀の中にそらまめ指定寄付も入っているのか？

A5,【事務局】今回のものとは別になっており、年度末に配分案を出す予定である。

3鶴見ふれあい善意銀行について

資料3に基づき事務局より説明

資料3

平成26年度 鶴見ふれあい善意銀行 実績一覧

区分	予算		区分別申請		予算-申請 金額	区分別助成(案)		会員特典(案)	助成総額(案)	辞退、返還		助成額(最終交付金額)			
	区分別金額	会員特典	件数	金額		金額	件数			金額	件数		金額		
A-1	3,260,000		4	1,000,000	3,180,000	4	1,000,000	30,000	1,030,000			4	1,030,000		
A-2			8	1,380,000		8	1,380,000	70,000	1,450,000			8	1,450,000		
A-3			3	210,000		3	210,000	30,000	240,000			3	240,000		
A-4			5	240,000		5	240,000	40,000	280,000			5	280,000		
A-5			7	350,000		7	350,000	70,000	420,000			7	420,000		
B-1	1,800,000	800,000	2	400,000	1,695,000	2	400,000	20,000	420,000			2	420,000		
B-2			3	240,000		3	240,000	0	240,000			3	240,000		
B-3			15	665,000		15	665,000	70,000	735,000			15	735,000		
B-4			9	390,000		9	390,000	70,000	460,000			9	460,000		
C-1	930,000		9	450,000	870,000	9	450,000	90,000	540,000			9	540,000		
C-2			15	420,000		15	420,000	80,000	500,000			15	500,000		
D	260,000		10	200,000	200,000	60,000	10	200,000	200,000	50,000	250,000	10	250,000		
E	200,000		0	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0		
F-1	250,000		1	100,000	100,000	1	100,000	0	100,000			1	100,000		
F-2			0	0		0	0	0	0	0	0	0			
G	800,000		14	700,000	700,000	100,000	14	700,000	140,000	840,000			14	840,000	
合計	7,500,000	800,000	105	6,745,000	6,745,000	755,000	105	6,745,000	6,745,000	760,000	7,505,000	0	0	105	7,505,000

【G区分との重複申請内訳区分】

区分	件数	金額	区分計
B-3	2	60,000	120,000
B-4	2	60,000	
C-2	2	60,000	60,000
合計	6	180,000	180,000

会員種別	件数
第5種会員	37
第6種会員	38
第7種会員	1
非会員	29
計	105

【助成金内訳】

市社協補助金より	4,023,000
区社協善意銀行より	2,482,000
そらまめ銀行より	1,000,000
合計	7,505,000

・第1回ボラセン運営委員会(26.5.26)にて審査・決定

助成決定件数	105	助成決定額	7,505,000
助成件数	105	助成額	7,505,000
辞退件数	0	辞退金額	0

<参考>平成25年度

助成決定件数	118	助成決定額	8,040,000
助成件数	118	助成額	7,835,000
辞退件数	1	辞退金額	35,000
一部返還件数	7	返還金額	170,000

【事務局】平成 27 年度の鶴見ふれあい善意銀行について、横浜市社協での検討会での途中経過を報告。

例として、これまで団体の自主財源として認められていた「前年度繰越金」が、自主財源の対象外となること。一方条件緩和の一つとして、これまで対象外であった食事サービスグループなどの準備に関わる交通費等の経費について、助成対象に含まれるようになる。また、例えば障害団体が公益社団法人になった場合にも助成対象団体として認めることも検討している。

なお、詳細は今後説明予定である。

Q1, 団体が自主財源を持つということか？

A1, 【事務局】もともと自主財源をもつことになっていた。

Q2, どれくらいの団体がかわるのか。どんな団体か？その団体は申請できないのか？

A2, 【事務局】1～2団体となる。障害関係の団体。繰越金以外の自主財源を持てるように伝えていく。

Q3, 食費は認められるのか？

A3, 【事務局】食費は認められない。前日準備の費用が認められる。

Q4, 来年度、大きな変更はあるのか？

A4, 【事務局】それほど大きな変更はない。

Q5, 説明会はいつ頃か？

A5, 【事務局】3月中旬以降を予定している。

Q6, 申請団体で事業が予定通り開催できず、補助金分を含め申請通り執行できなかった場合は、次回の委員会ではかるのか？

A6, 【事務局】年度途中で分かった団体については3月の委員会ではかる予定である。

4. その他

・今後の開催予定について

次回日程:平成27年3月2日(月)10:30～12:00

場所:鶴見区福祉保健活動拠点 団体交流室

三谷委員長あいさつをもって閉会した

以上

担当:金澤・内藤
電話:504-5619